

2023年度

環境経営レポート

(2023年9月1日～2024年8月31日)

発行日 2024年11月1日

承認	作成
両角	塚原

長野県茅野市湖東1134

有限会社 両角石材

目 次

1. 組織の概要（実施体制を含む）と対象範囲,
2. 環境経営方針
3. 環境経営目標（中長期）
4. 環境経営目標の実績
5. 環境活動計画
6. 環境活動の結果とその評価
7. 緊急事態の特定、準備、訓練
8. 次年度環境経営目標及び環境経営計画
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、
並びに違反、訴訟などの有無
10. 代表者による全体評価と見直しの結果

はじめに

当社は2017年10月1日に環境マネジメントシステムを立ち上げました。
このシステムでは、当社の事業年度に合わせ、毎年9月から翌年8月までを
ひとつの区切りとしています。

この「環境経営レポート」は、環境マネジメントシステムを立上げてから
7年目の事業年度を対象にまとめました。

1. 事業活動の概要と環境活動実施体制

1-1.事業所名及び代表者氏名

有限会社 両角石材
代表取締役 両角 力

1-2.所在地

391-0211 長野県茅野市湖東1134

1-3.環境保全関係の責任者及び担当者

環境管理責任者 : 工事主任 塚原 治彦

1-4.連絡先

TEL : 0266-76-2420
FAX : 0266-76-5939
E-mail : maruryo@poem.ocn.ne.jp

1-5.事業内容(認証・登録範囲)

- ・ 造園・緑化工事の設計施工、土木工事の施工
- ・ 飲食業（2026年度対象に含める予定）
- ・ 事業年度・レポート対象期間共に9月～8月

次のとおり一般建設業の認可を取得しています。

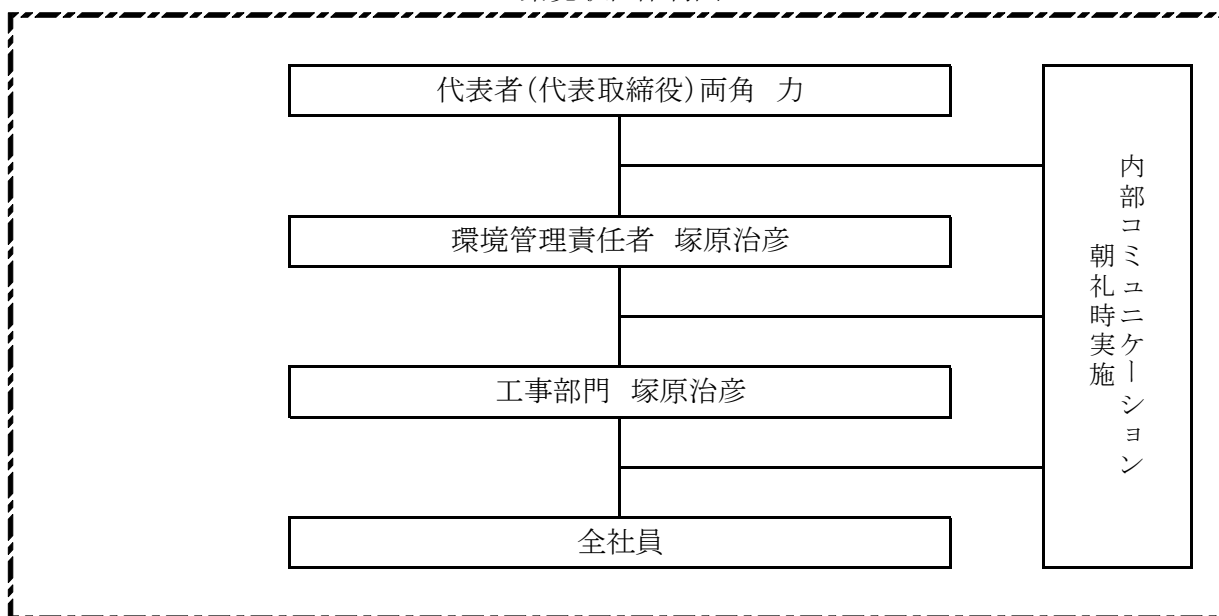
土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業
舗装工事業、造園工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業
長野県知事 許可（般-2）第 17957号

1-5-2.事業規模

受注額 : 109百万円
従業員 : 9名
延床面積(事務所) : 50㎡
敷地面積（事務所） : 300㎡
敷地面積（土場） : 2700㎡

1- 6 .環境活動実施体制

環境取組体制図



実施事項

代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

2. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

《基本理念》

有限会社両角石材は、環境に関する社会の関心が高まるなか
施工を通じ環境問題に積極的に取組むことにより環境改善を図り、
安心安全の社会貢献に向け取り組みを推進する。

《環境方針》

- ① 事業活動において、省資源・省エネルギー・節水に努めます。
- ② 産業廃棄物の削減をはかり、再利用・再資源化に努めます。
- ③ 環境に関わる関連法令を遵守し、環境保全の向上に努めます。
- ④ 地域の環境に配慮した工法・製品での建設物を提案し推奨します。
- ⑤ 地産地消を推進し、環境に優しい製品・工法の普及に努めます。
- ⑥ 地域貢献活動に積極的に参加し、環境意識の向上に努めます。
- ⑦ 環境活動を公表することにより、社員の意識向上に努めます。
- ⑧ 環境経営の継続的改善を誓約する。

制定日 2017年11月1日

改定日 2020年6月1日

有限会社両角石材

代表取締役 両角 力

3. 環境経営目標（中長期）

項 目		単 位	基準値 (2019年)	2023年目標	2024年目標	2025年目標
二 酸 化 炭 素 削 減	C O 2 排出量	kg-CO2 (%)	72,325	66,539	65,816	65,093
			100%	92%	91%	90%
	電力	kWh	4,484	4,125	4,080	4,036
	軽油	L	18,176	16,722	16,540	16,358
	ガソリン	L	9,619	8,849	8,753	8,657
	灯油	L	1,690	1,555	1,538	1,521
	一般廃棄物	kg		24	24	24
	産 廃	混合廃棄物	kg	2,000	2,000	2,000
水 削 減	水使用量	m ³	120.0	120.0	120.0	120.0
		(%)	100.0%	現状維持	現状維持	現状維持
環 境 配 慮						
	環境に配慮した 工事	—	環境配慮工事提案1 件	環境配慮工事提案2件継続		

中部電力(株) 2019度二酸化炭素調整後排出係数 0.426kg-CO2/kWhを使用

4. 環境経営目標実績

項 目		単 位	基準値 (2019年)	2023年目標	2023年実績値
二 酸 化 炭 素 削 減	C O 2 排出量	kg-CO2 (%)	72,325	66,539	67,701
			100%	92%	+1.6%
	電力	kWh	4,484	4,125	3,928
	軽油	L	18,176	16,722	17,774
	ガソリン	L	9,619	8,849	6,991
	灯油	L	1,690	1,555	1,587
	一般廃棄物		kg	24	24
	産 廃	混合廃棄物	kg	2,000	2,000
水 削 減	水使用量		m ³	120.0	120.0
			(%)	100.0%	現状維持
境 配					
	環境に配慮した		—	環境配慮工事提案1件	環境配慮工事提案2件継続

中部電力(株) 2019年度二酸化炭素調整後排出係数 0.426kg-CO2/kWhを使用

4-1環境活動実施結果

達成状況の反省と展開

1. 音無川災害復旧工事等で環境配慮提案を、2件提案出来た。
2. 受注工事内容により、灯油・軽油増となった（河川工事冬季養生）
トータルで二酸化炭素の排出量は1.6%増となった。これは受注内容（冬季養生）により
使用量が増えたが他は減少のためより効率稼働に心掛けていく。
3. 総排水量の削減は現状維持で取組む。
4. 東部漁協の工事現場に関しては、工期要望に合わせる対応を図る。

5.環境経営目標にもとづく環境活動

	項 目	活動計画	主要活動項目 (赤字)次年度取組
1	CO ₂ の削減	1 照明の消灯 2 省エネ運転の実施 3 建設機械の適正使用 4 暖房器具の使用量削減	・必要箇所のみの使用 ・照明のLED化 ・エコドライブの実施 ・待機時のエンジン停止 ・仮設電気の活用化 ・無駄な工程を削減する ・不在時の暖房停止 ・設定温度の適正化
2	産業廃棄物の削減 (混合廃棄物)	1 材料等の有効利用 2 建設副産物再資源化の徹底	・在庫資材の活用 ・発注の際割増の低減 ・マニフェストによる管理の徹底 ・分別の徹底
3	総排水量の削減	1 水道水の削減	・流し放しで使用しない ・造園工事井戸水・河川水の有効活用
4	環境配慮工事	1 発注者への提案	・積極的に環境配慮の工法を提案する

6. 環境活動の結果とその評価

1.環境目標・実績

目標は2019年度の実績値を基準とし、見直しを行った。実績は以下のとおりである。

中部電力 電気CO ₂ 換算係数 (2019年) 0.426 kg-CO ₂ /kWh					
No.	項 目	単位	2019年度(基準値)	2023年度目標	2023年度目標実績
1	CO ₂ の削減 目標達成率	kg-CO ₂	72,325 1	66,539 92%	67,701 1.6%増
2	混合廃棄物 目標達成率	kg	2,000	2,000	1,800 10%減
3	総排水量の削減 目標達成率	m ³	120	120.0	120 現状維持
4	環境に配慮した 工事	件	環境配慮の提案 1件/全工事	環境配慮の提案 2件/全工事	環境配慮の提案 2件の工事で実施達成
5					
評価: 1. 舗装修繕工事等で環境配慮提案を、2件提案した。 2. 受注工事内容により、灯油・軽油増となった。これは河川工事が2件重なり冬季養生用のストーブ・発電機等によると思われる二酸化炭素の排出量1.6%増になってしまった。これは受注工事内容により変化がより効率稼働に心掛け要する 3. 総排水量増については、現状維持で取り組む。 CO₂が1.6%増となったことは、受注工事内容による。 5. 削減活動を継続実施する。 4. 総括・来年度のへの展開: 1. 河川改修等工事において排水・発電機稼働から可能な限り仮設電気を活用する。 2. 元請と工程をよく打ち合わせし、手戻りをしないように打ち合わせする。					

教育・訓練記録

承認	作成
両角	塚原

計画書 No.			受講者氏名
実施日時	2023 年 9 月 4 日 10 時 30分 ～		塚原 治彦
場 所	両角石材事務所		奥村 和雄
対象部署名	全社員		伊東 ひろみ
指 導 者 (講 師)	社長 両角 力		両角 さと江
			両角 奈美
訓練概要			
内 容	① 今期環境活動計画説明		
	② 法規制の遵守について		
	③ 労働災害防止について		
備 考			
有効性の評価 (具体的に記入)	☒ 質問の確認		
	☐ 報告書の提出		
	☐ テスト		
	☐ その他		

工事環境提案実施記録

工 事 名	令和4年度 防災・安全交付金施設機能向上(加速化) 工事
工事場所	茅野市北山 音無川
工 期	令和5年6月12日 ～ 令和6年2月29日
工事概要	災害復旧 護岸工
環境提案内容	河床はコンクリートを使い30cm位の石を並べる計画でしたが、水量も多く勾配もきついため1m内外の巨石を使い底張りをすることを提案した。
環境改善効果	現場内の巨石も活用し河床整理にも役立った。
実施写真	

工事環境提案実施記録

工 事 名	令和6年度 市費 蓼科地区2-821号線舗装修繕工事
工事場所	茅野市 北山 蓼科
工 期	令和6年6月21日 ～ 令和6年9月30日
工事概要	舗装修繕工
環境提案内容	道路勾配の関係上畑に雨水が流入し土をえぐってしまう。全ての雨水に対応できないがアスカーブを設置し畑隅にある側溝へ流せるように提案した。
環境改善効果	畑への流入はほぼ食い止められた。多少の水ははいるが畑を荒らすことが無くなった。
実施写真	

7. 緊急事態の特定、準備、訓練

No.	緊急事態と影響の内容	主な対応方法
1	消火器の取扱い	① 消火器の使用方法について再教育した。 ② 消火器は製造年から10年過ぎると使用禁止であることを説明した。 ③ 火災対応手順書の読み合わせを行った。
No.	緊急事態と影響の内容	主な対応方法
2	油類・オイルマット	① オイルマットの使い方再確認 ② 油類流出事故対応手順書の読み合せ



8. 2024年度環境経営目標及び環境経営計画

環境項目			目標値	活動計画	活動項目
CO2排出量		kg-CO2	65,816		
二酸化炭素削減	電力	kWh	4,080	① OA機器管理	・パソコンおよび周辺機器の節電
	軽油	L	16,540		・プリンター・コピー機の節電
	ガソリン	L	8,753	② 照明管理	・室内照明の必要箇所のみ使用
	灯油	L	1,538		・照明のLED化
	一般廃棄物	kg	24	③ 冷暖房管理	・設定温度の適正管理
	混合廃棄物	kg	2,000		・不在時の冷暖房停止
				④ 建設機器・設備管理・作業管理	・発電機稼働管理
					・仮設電源の活用
					・効率設備増設検討
				⑤ 省エネ管理	・建設機械の適正使用、無駄な工程の削除
					・エコドライブを推進、建設機械の省エネ
					・待機時のエンジン停止
				⑥ 法に基いた廃棄物管理	・法の順守処理
					・分別の徹底
水削減	水使用量	m ³	120	① 水有効活用管理	・水道水を流し放しで使用しない
					・河川水の有効活用
環境配慮			提案 2 件	① 環境配慮工事	・各代理人の意識高揚
					・積極的に環境配慮工事を提案

9. 環境関連法規への違反、控訴等の有無

次の法が適用され、2024年8月29日、遵守の確認を行ったところ、下記の結果でした。

尚、関係当局よりの違反の指摘は、過去6年間ありません

適用法	法規制内容		評価結果
騒音規制法	・ 特定建設作業の実施の届出 ・ 例：バックホウ80kw以上（環境大臣指定は除く）	-	以下詳細は 順守評価記録による
廃棄物の 処理及び 清掃に関 する法律	・ 事業所の外で自ら当該産業廃棄物の保管の届出 産業廃棄物を適正に処理、再利用・原料の促進 ・ 許可業者に委託（一廃は許可証の確認） ・ 許可業者に委託（産廃は契約） ・ 産廃置き場に法定看板の設置 ・ マニフェスト発行・返送遅延時の届出 マニフェスト交付状況の報告 ・ 蛍光管等水銀使用製品分別保管	○	//
指定福産 物利用促 進省令	・ 指定副産物に係る再生資源の利用の促進 ・ 建設発生土の利用促進 ・ 建設発生土を保管する場所の確保 ・ 副産物の利用促進 ・ 再生資源利用促進計画の作成 ・ 管理体制の整備	○	//
リサイクル法	・ 事業者の責務 ・ 分別回収し再資源化の促進 ・ 再生部品・再生資源の利用促進	○	//
建設工事 に係る再 生資源化	・ 建設廃材の抑制・再生資源化費用の低減 ・ 再生資源資材の使用 ・ 建設物等の分別解体・再生資源対象建設工事 ・ 対象建設工事の届出	○	//
消防法	・ 指定数量の1/5以上、指定数量未満は少量 危険物の届出を行う。	○	//
フロン排出 抑制法	・ 簡易点検：1回/3か月	○	//

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

経営者による取り組みの見直しを2023年9月30日行い、次の結果が得られました。

インプット（審議事項）	アウトプット （見直し結果：社長指示）	担当	期限
(1) 目標の達成状況 ・CO2削減：67701.0kg 1.6%増 (河川工事冬季養生の為の灯油・軽油増) ・建設混合廃棄物：1,800kg 10%減 ・排水量削減：120m ³ 現状維持 ・環境配慮工事：2件達成	・継続して低減活動のこと ・公共工事は基より民間工事においても環境配慮提案を積極的に行うこと	代理人 代理人	11月から 11月から
(2) 最近の不適合事例及び是正処理・予防処置：音無川災害復旧工事 予防処置	感受性高めること	代理人	都度
(3) 地域住民などの利害関係者からの苦情及び是正・予防処理（管理責任者） ・なし	・内部・外部のコミュニケーションを確実に実施継続のこと。	全員	都度
(4) 法規制、遵守評価、社会状況の変化 環境関連法規制等順守評価記録	法規制を守り顧客の信頼を高めること	全員	都度
(5) 負荷の自己チェック、取組の自己チェックの結果 二酸化炭素の排出量が受注内容により1.6%増となった。灯油・軽油増 (河川工事冬季養生の為)	・継続して化石燃料減少活動要 特に排水工事の発電機使用の管理を仮設電気利用可工事においては配慮のこと	代理人	11月から
(6) 改善の提案 環境提案2件	・継続して積極的に提案すること	代理人	都度
(7) 「環境経営方針」「環境経営目標」「実施体制」の見直しの必要性	・見直しの必要はない	社長	都度